

パブリックコメントの結果について

【意見募集の概要】

案件名	高山市第九次総合計画基本計画の素案について
募集期間	令和6年11月22日(金) ～ 12月23日(月) (32日間)
担当部・課	総合政策部 総合計画策定室

【集計結果】

意見提出人数	3人
意見数	4件

【意見の検討結果】

項目	
① 修正します	意見に基づき、原案を修正するもの
② 意見として承ります	原案は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③ 原案のとおりとします	検討した結果、修正しないもの
④ その他	原案に関する意見でないもの(感想や質問)に回答するもの

【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見(概要)	検討結果及びその理由	
1	「こども・子育て」について	0歳と9歳のこどもを育てているが、責任ある立場にあり仕事を休めない状況である。 病気などの理由でこどもを預かってくれる施設を探しているが、利用可能な民間のシッターサービスは料金が高額のため家計への負担が大きいと感じている。市からの支援がほしい。	②意見として承ります	市では、こどもの健やかな成長と家庭の暮らしを支えるため、病気のお子さんをお預かりする「病児保育」を含め、ニーズに対応した多様な保育・託児サービスを提供しています。 「病児保育」の対象は、生後6か月から小学3年生までのお子さんに限らせていただくほか、医師の判断や病状によってはご利用にならないケースもありますが、かけがえない命を安全にお預かりするために必要な要件と捉えています。 第九次総合計画においても、全国共通の児童手当や市独自の経済的支援のほか、様々な専門スタッフによる丁寧な相談支援など、こども家庭支援の一層の充実を進めてまいります。
2	「防災・危機管理」について	災害時のトイレに、おがくずやモミガラを利用した乾燥式バイオトイレを導入してはどうかと考える。竹の粉末を混ぜることで消臭効果が期待できる。便をバケツに収集し、植物性パウダーをまぶして処理をする方法を提案する。	②意見として承ります	災害時のトイレ対策として、携帯トイレ・簡易トイレの備蓄やマンホールトイレの整備を進めています。 大規模災害時におけるトイレの臭い対策や排泄物の処理方法は重要な課題であり、第九次総合計画においても、引き続き、トイレ対策等を含む避難所運営マニュアルの見直し等を図りながら、避難所環境の充実に取り組んでまいります。
3	「生活環境・資源循環」について	耕作放棄地で飲食店や旅館などから出る茶殻や魚くずといった生ゴミを堆肥化する事業を行ってほしい。無料で入手しやすい廃菌床やおがくず、モミガラを基材とし、簡単な化学分解を用いることでゴミの軽量化が可能であり、こども食堂向けの野菜栽培にも活用できると考える。	②意見として承ります	市では、家庭用の生ごみ堆肥化装置を購入される際の費用を一部補助するなど堆肥化やごみの減量化に取り組んでいます。 第九次総合計画においても、引き続き、ごみの減量化や3R(リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進により、循環型社会の構築に向け取り組んでまいります。
4	「財政・財産管理・税制」について	公募型プロポーザルの審査結果を詳細に公開してほしい。岐阜県庁では公開されている。一方、高山市では詳細が公開されず、不自信を抱く声がある。地元企業や人材を育成する意味でも、市内事業者を積極的に活用してほしい。特にクリエイティブ産業において、事業を細分化し、大手企業の採択時でも地元企業に制作業務を任せるなどの工夫が必要と考える。	②意見として承ります	公募型プロポーザルの審査については、点数などの審査結果のほか、プロポーザル審査会設置要綱を制定し、審査会の組織を公開しています。 第九次総合計画においても、引き続き、市内事業者の積極的な活用を図りながら、適正な公契約の推進に取り組んでまいります。